

令和2年8月6日

各位

大阪府中央区瓦町三丁目5番7号
株式会社アドバンスクリエイト
代表取締役社長 濱田 佳治
(コード番号: 8798 東証第一部)
(連絡先) 社長室長 林 寛一郎
電話 06-6204-1193

人とテクノロジーを深化させ進化する会社

**【保険市場コラム】「一聴一積」に野口 悠紀雄さんによるコラム
「コロナ後の『ニューノーマル』は何か？」の掲載を開始しました**

当社が運営する国内最大級の保険選びサイト「保険市場」(<https://www.hokende.com/>)において、保険市場コラム「一聴一積」内に、早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター顧問の野口 悠紀雄 (のぐち ゆきお) さんによるコラムの掲載を開始いたしましたので、お知らせいたします。

記

■ 「保険市場」

<https://www.hokende.com/>

今後も、当社はWebマーケティングに主軸を置いた事業展開を進め、国内最大級の保険選びサイト「保険市場」において、ユーザビリティを向上させ、お客様の体験価値を高めていくと共に、刻々と変わる消費者動向を先取りし、5G時代の到来を睨んで最先端のテクノロジーとWebマーケティングノウハウを駆使し、あらゆる保険の情報メディアサイトとしての進化を追求してまいります。

【プロフィール】

■ 野口 悠紀雄 (のぐち ゆきお)

早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター顧問、一橋大学名誉教授

1940年東京都生まれ。1963年東京大学工学部を卒業。1964年大蔵省(現、財務省)に入省。1972年エール大学経済学博士号を取得。一橋大学教授、東京大学教授(先端経済工学研究センター長)、スタンフォード大学客員教授、早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授などを歴任。近著に、『野口悠紀雄の経済データ分析講座 企業の利益が増えても、なぜ賃金は上がらないのか?』(ダイヤモンド社)、『だから古典は面白い』(幻冬舎)、『中国が世界を攪乱する』(東洋経済新報社)など。

本コラムの野口 悠紀雄さんは、現在、早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター顧問をされており、多くの著書を執筆し、さまざまなメディアを通じてご活躍されています。新型コロナウイルスの感染拡大のなか、在宅勤務などコロナ後のニューノーマルについてお話ししていただきます。

「保険市場」は情報メディアサイトとして、保険に限らず多様なジャンルのコラムを掲載することで、お客さまにとってより幅広く有益な情報提供ができるものと考えております。

連載名：「コロナ後の『ニューノーマル』は何か？」

URL：<https://www.hokende.com/news/blog/entry/noguchiyukio/001>



新型コロナウイルス感染拡大で在宅勤務が急速に広まった

新型コロナウイルスの感染拡大で在宅勤務が推奨されたことから、多くの企業が在宅勤務を導入し広がりつつある。

「人と人との接触を避ける」という必要性からやむを得ず導入された面が強い在宅勤務だが、実際にやってみると、さまざまな利点があることが分かった。

まず、従業員の立場からみると、在宅勤務（リモートワーク）には、魅力的な側面が多い。例えば、悪天候の日に無理して出社する必要がなく、通勤ラッシュから逃れることができる。毎日通勤しなくても、1週間に数日だけ会社に行けば仕事も支障なく進めることができるだろう。「在宅勤務の方が仕事に集中できるので能率的」という意見も多く耳にした。

以 上